

八尾ロボットフェア 2014

第6回八尾ロボットコンテスト 2013.2.11アリオ八尾

ロボット&チーム名	参加者 名簿
えだまめ君	チーム代表者 鈴木 謙三 チーム監督者 延原 高志
	参加者: (有)たくみ精密钣金製作所、延原 高志、大島 逸平、野村 秀夫 (株)近畿ナルサ、(株)システックナカハラ、(株)大幸精機、(株)MPC (株)DCウエムラ、(株)ハープ、水谷精工(株)、(株)三ツ星産業 (有)大和製作所、(株)デジック、理化工業(株)、(株)高松金属 (株)関西クラウン工業社、(株)トーヨー、関西金属工業(株)
	ロボット製作費 68,776円
	ロボットの大きさ 290x290xH280
	ロボットの重量 約7kg
	<h3 style="text-align: center;">特 徴</h3> <p> 攻撃ユニットは仰角の調節と巻尺を使用したアームにより、1m以上の射程距離があります。 </p> <p> タイヤにはオムニホイールを使い、前後左右と斜めの全方向移動ができます。 </p> <p> サスペンションにはオイルダンパを使い、衝突時の衝撃と振動を吸収して帽子が落ちにくくなっています。 </p> <p> マイコンボードは、初心者でも簡単にプログラムができるE-Gadgetを使用しました。 </p> <p> ロボットには無線カメラが搭載されており、スマートフォンなどでロボット目線のリアルタイム映像を見ながら操縦できます。 </p>
製作時のエピソード (苦労話・話題など)	
1) 設計を始めると、ロボットのサイズが思ったより小さく、モータなどの機構部品を既定のサイズに収めるのに苦労しました。	
2) 攻撃ユニットは「パトリオットミサイル」をモチーフにしました。	
3) 巻尺を出し入れする球面のローラは、3Dプリンタを使用して部品製作しました。	